

[BT 水和剤]

# バシレックス水和剤

有効成分：バチルス チューリンゲンシス菌の  
生芽胞及び産生結晶毒素…………… 10.0%  
(力価として 1000B.m.B 単位/mg)

性 状：類白色水和性粉末  
毒 性：－  
危 険 物：－  
有効年限：4年  
包 装：100g×60袋  
500g×20袋

バシレックスは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

## 【特長】

- 自然界に存在する有用細菌を利用した微生物殺虫剤です。
- チョウ目害虫の幼虫に、きわめて選択的に防除効果を示す。
- 2種類のBT菌を混合した製剤で、安定した効果が期待でき、抵抗性発達の心配が少ない。
- 哺乳類、鳥類、魚類や、チョウ目幼虫以外の昆虫類に対して影響が少ない。
- 有機農産物生産や特別栽培農産物生産に使用できる。
- 環境や天敵に対する影響が少ない。
- 作物に対する薬害の心配が少ない。

## 【適用害虫と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数
野菜類	アオムシ コナガ	1000～ 2000倍	100～300ℓ /10a	発生初期 ただし、 収穫前日まで	－	散布	－
	タマナギンウワバ	1000倍					
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	500倍					
りんご	ヒメシロモンドクガ アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	1000倍	200～700ℓ /10a				
かき	カキノヘタムシガ イラガ類						
しいたけ (菌床栽培)	ムラサキアツバ	500～ 1000倍	100～300ℓ /10a	幼虫発生期		被害菌床 全体へ薬 液が滴る まで散布	
茶	チャノココクモンハマキ チャドクガ		200～400ℓ /10a	発生初期 ただし、 摘採7日前まで	－		－
	チャハマキ チャノホソガ シャクトリムシ類	500倍					
さんしょう (果実)	アゲハ類	1000倍		発生初期 ただし、 収穫前日まで			
さくら	モンクロシャチホコ		200～700ℓ /10a	発生初期		散布	
プラタナス	アメリカシロヒトリ	1000～ 2000倍					
つばき類	チャドクガ	1000倍					
樹木類	トビモンオオエダシャク	500～ 1000倍					
ストック	コナガ	1000倍	100～300ℓ /10a				
フェニックス・ ロベレニー	トビモンオオエダシャク	500～ 1000倍	200～700ℓ /10a				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数
芝	タマナヤガ	1000倍	300ml/m <sup>2</sup>	発生初期	-	散布	-
	スジキリヨトウ シバツトガ	500~ 1000倍					

## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 使用に当たっては、展着剤を加用することが望ましい。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵する。
- アルカリ性の強い石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面施用の肥料などとの混用はさける。
- 本剤は若令幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失わず散布する。
- みずいも、みずかけな（水掛菜）、せり、クレソン、くわい、じゅんさい、ひし、まこもたけ、れんこん及びわさびに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用後14日間は入水しない。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意



- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。

- ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
- ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
- ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。



- 蚕に対する毒性があるので、養蚕主要県及びその他主要養蚕地帯では使用しない。また、養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しない。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は、飛散してかからないように風向等に十分注意して散布する。

なお、本剤の使用に当たっては、散布地域の使用規制に従う。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 茶に使用する場合は残臭のおそれがあるので、摘採前7日以内の使用はさける。
- 空中散布には使用しない。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。

〔保管〕：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

---

農業登録(登録番号)：エス・ディー・エス バイオテック (15000)

販売：全農、全農薬